

東大和市の魅力 -レジャースポット-

東大和市立狭山緑地



狭山丘陵の一角を占める緑地で、地権者から土地を借用する方式で開園しました。狭山丘陵の自然を生かした木道や園路が約1.5kmにわたり整備され、散策を楽しみながら植物、昆虫、鳥などを身近に観察できる貴重な緑地です。やすらぎの場、憩いの場として市民をはじめ多くの方に広く利用されています。

また、広大な敷地内にアスレチックの遊具が点在し、休日には家族連れなどにぎわっています。



くもの巣のぼり



迷い坂

ちょこバス (東大和市コミュニティバス)
西武・都営路線バス
八幡神社バス停下車 徒歩10分程度

多摩湖自転車歩行者道



境浄水場と村山貯水池を結ぶ水道道路の関前五丁目交差点から都立狭山公園入口付近までの約11kmの直線区間と、多摩湖畔を周遊する約11kmの区間からなる総延長約22kmの自転車歩行者道で、正式名称は東京都道253号保谷狭山自然公園自転車道線ですが、多摩湖自転車歩行者道と呼ばれています。

狭山丘陵の自然、多摩湖の絶景を満喫できるほか、春にはコース各所で桜のトンネルの中を走る楽しみも。

東京都立東大和公園

狭山丘陵にある四つの都立公園の一つで、狭山丘陵の里山そのものが残る場所です。

団地開発が計画された際に、多くの市民と東大和市が里山保全について東京都に働きかけ、昭和54(1979)年に東京で初めての丘陵地公園として開園しました。

コナラ、アカマツなどの雑木林には野鳥の音が響き、遊歩道を歩けばキショウブ、オオバギボウシなど、季節ごとの花々を觀賞することができます。樹木の香りを求めている散策、いかがですか？



野火止用水ホテルの里



野火止用水は、承応4(1655)年に川越藩主・松平信綱によって造られた用水路です。

昭和に入り急速な都市化による水質汚染や水不足で分水が中止されましたが、東京都と埼玉県清流復活事業で昭和59(1984)年に流水が復活しました。

東大和市では、用水の一部を使ってハイケバトルを育てています。

自然に囲まれた用水沿いの緑道は、散策にもおすすめです。